

支援プログラム

(別添資料1)

事業所名 **重症児・者福祉医療施設鈴が峰 児童発達支援**

作成日 **2025年 3月 27日**

法人(事業所)理念

私達は下記に記載した内容を大切に、施設全体の目標にしています。

施設目標

- ・和願愛語の精神で障害児・者支援に貢献します

行動指針

- ・私たちはご利用者の人権を尊重した支援を行います
- ・地域のニーズに応え、サービス向上を図ります
- ・ご利用者に安全・安心な生活を提供します

支援方針

在宅で生活している医療的ケア児や重症心身障害児が、地域で安定した生活ができるよう、多職種が協力して5領域における本人支援を行います。また、各関係機関との情報交換や保護者、他事業者との関わりを深め、一人一人のニーズに応じたサービス提供と、保護者の身体的、精神的な負担の軽減を多方面からサポートします

営業時間

送迎実施の有無

月～土曜日(祝日、12/29～1/3は除く) 10:00～16:30(長期休暇含む)

なし

職員の質の向上

施設外

- ・療育センター主催の研修…発達に関して、専門職による講義、制度に関する講義等
- ・重症心身障害児者施設主催の研修…療育や家族支援、情報交換等
- ・療育学会や重症心身障害児者学会参加

施設内

- ・新任職員研修 フォローアップ研修 ステップアップ研修
- ・感染対策研修
- ・医療安全研修
- ・虐待防止、権利擁護及び身体拘束研修
- ・BCP研修

その他様々な内容を開催。外部の方に講師を依頼することもあります。Eラーニングを活用し、研修を動画視聴できるようにすることですべての職員が学べる機会を得られるようにしています。

家族支援

発達や医療ケアに関する相談には助言をしたり、一緒に解決方法を探します。また、家族全体の困りごとや保護者の身体的、心理的負担に寄り添います。ニーズに応じて情報を共有したり、関係機関と共有、連携し支援します。

移行支援

就学に向けた本人支援を行ったり、関係機関との情報共有、保護者の就学前後の不安感に寄り添います。

地域支援・地域連携

定期的に関係機関や他事業所と情報共有し、支援に活かします。

主な行事

施設行事：鈴が峰キャンパス秋祭り 通園夏祭り(8月) 通園クリスマス会(12月)、季節にちなんだ活動等
ボランティア等：絵本読み

健康・生活

- ・バイタルチェック
- ・医療ケア
- ・食事、注入
- ・排泄
- ・体調に合わせた活動内容の調整

認知・行動

- ・季節を感じる製作
- ・事務所へ届け物のお手伝いをしてもらうなど他者との関わる機会を多くもてるような支援
- ・見通しが立てやすい、分かりやすい提示の仕方

人間関係・社会性

- ・挨拶や活動を通じて色々な大人と交流する
- ・生活介護の方とも交流する機会を持ち、異年齢交流する
- ・安心できる居場所となるよう関係性を築く

言語・コミュニケーション

- ・要求や意思表示が他者に伝わるように、本人のサインを使ってのやりとりを多くする
- ・知っている言葉が分かりやすい言葉でコミュニケーションをとる

運動・感覚

- ・成長に伴う身体の変化に気付けるように体調観察を行う
- ・フロアに降りる際は本人のペースに合わせて見守りを行う